

フローリスト高野

大分県津久見市

<http://florist-takano.jp/>



店舗概要

創業年 1951年(昭和26年)
※事業承継 2017年
売場面積 80.7㎡(24.4坪)
従業員 4.0人
営業時間 8:40~18:00
定休日 不定休

商品構成

・生花スタンド	40.0%
・生花	20.0%
・鉢物	20.0%
・造花	10.0%
・肥料、土等	5.0%
・かき氷	5.0%

経営方針

- ・お客様の大切なシーンに選ばれる店であり続けるよう、当店の上質な花とフラワーデザインによって、『他のお店にはない当店のとっておき』を提供する。
- ・先代の頃より当市で創業68年続く地域密着型の店舗で、市民の皆さんと共に成長する事業所として、「お客様が大切な方へ想いを贈るお手伝い」を行うようきめ細かなサービスを心掛ける。

ギフトショップ併設で、花の魅力をトータルに提案

大分県津久見市で68年続く花屋を、現代表が2017年に事業を継承した。現代表は、フラワー装飾技能士1級の資格をもつフラワーデザイナーでもあり、花キューピット加盟店の全国コンクールで全国2位の実績を持つ。店舗は2019年5月に新装開店。地域の商店街といっしょに新店舗開店を盛り上げるなど、過疎化が進む地域を一体となって盛り上げている。

花のアイテム数は300点以上に上り、代々蓄積した顧客データを基に、ひとりひとりのニーズに込んでいる。売上のメインは、4割を占める葬儀や盆用の花輪のほか、高いデザイン性を活かした生花のフラワーアレンジメントである。とくに他店ではあまりやらない1本からの花束など地域の個人店ならではのきめ細かい対応をしている。同じ店舗に併設し、現代表の夫が営むギフトショップと協働したギフトの提案を行っている。とくに、近年人気が出始めている入浴剤の素材で作る「ソープフラワー」との組合せギフトを販売。新たな需要掘り起こしに努めている。

2018年の経営革新計画で、「地域特産品を使ったオリジナルかき氷シロップの開発・販売」の承認を得、地域特産物の「みかん」味や「かぼす」味、また「つぶつぶ苺」味や「黒蜜きなこ」味など、季節に応じて、のべ30種類ほどのバリエーションで販売している。「花屋なのに かき氷を売っている」と地域の話題にもなっている。